

平成 30 年 2 月 24 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 京都府立山城高等学校 山本 里美
2. 講師氏名: LOPEZ MORENO, A
3. 同行者氏名: 小松 直樹
4. 実施日時: 平成 30 年 2 月 24 日 (土) 10:30 ~ 12:00
5. 参加生徒: 1 年生 38 人、 年 生 人、 年 生 人 (合計 38 人)
備考: 在籍数 42 名 (当日欠席者 4 名)
6. 講演題目: Functionalization of carbon nanotubes and a study of their properties
7. 講演概要:
 - ・講師の自己紹介
 - ・スペインについて
 - ・研究内容に関するプレゼンテーション
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 35 分 質疑応答時間 55 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター、パワーポイントスライド使用による講演、スライド中に参考動画有り
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
内容についての補足質問 (講義中・英語)、研究機関のしくみの補足説明 (講義語・日本語)
 - (4) 事前学習時使用教材 (事前学習を行った場合のみ)
「引用」に関する資料、キーワードリスト、生徒による事前調べ学習のためのワークシート
10. その他特筆すべき事項:

講師の先生が、講義時間を 60 分と理解されていたため、実質的な講義時間が 30 分程度となり、ほぼ 1 時間、生徒との質疑応答で時間をつなぎました。予定の講義時間で研究内容を説明していただければ、生徒にとっては理解がより容易になったと思われるのが残念です。学術振興会から事前にいただいた資料にはすでに講義時間が記載されておりましたので、講師の方も講義時間については周知されているものとして考えておりました。今後はこちらからの事前のメールでも再確認するようにいたします。